

日刊 發行所 川崎文治 本社 同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定 一 部 金 貳 錢
一 月 五 錢
三 月 一 十 五 錢
六 月 三 十 錢
一 年 六 十 錢

廣 告 費 五 錢 一 行
五 十 錢 一 行
一 百 錢 一 行

休 日 大 祭 日 祝 日 祭 日 休 日

福 島 縣 石 城 郡 平 町 長 崎 町 三 五 番 地 發 行 所 常 盤 每 日 新 聞 社
電 話 六 三 〇 番

刊 夕 日 三 十 二 月 五

馬目武之助君ヲ推ス

平町大工町二五
多田井笑次郎

緑川喜三郎君

三萬町民の公僕、奉仕として
勇敢に立てる青年
の當選を期したく義侠に富める
有権者各位の御同情に訴ふ
搔搦小路一 木村勝右衛門
平町有志

町會議員候補者

根本品藏

貴下の御一票を乞ふ
月見町二五 根本一馬

町會議員候補者

石山治三郎君を

最適任と認め推薦仕候
材木町 柿田榮太郎

清き一票を

町會議員候補者
坂本隆藏氏へ
平町一丁目 明智淺吉

大衆の味方として

佐々木健一郎君に

御投票を懇願致します
搔搦小路 前澤文太郎

拜啓貴台益々御清榮の段奉慶賀候。陳者今回平町會議員の改選に當り、茲に不肖等の懇請を容れ萬難を廢し立候補仕候。遠藤林松君は常に不羈獨往を信條として徹節を全ふし今日に及べる人格高邁の人なるは不肖等の言を俟たずして世の既に知る處舉げられて二期間八ヶ年に亘り町會議員として起ち身を挺して町治の進展に獻げ其の誠を町治の刷新に反映せしめ極方公共に盡瘁せる功績決して少ならざるもの有之蓋し普選初頭の町會議員として適任者中の隨一、信せられ候。斯くの如き意志強固にして老練なる人士の當選に依り益々多事多端なる吾等が郷土平町を得て眞に住みよき平町ならしめよ以上の明き事を加へ得る所以と確信仕候間貴下の御一票の行使如何に依つて「大平町」の運命を決し得べき來三十日、投票日には是非其正義の士遠藤林松君の御投票の程町治の將來を懐ふ座候先づは御挨拶迄得貴意候。

- 長橋町有志
- 小野園次郎 關内半平
 - 小野富吉 奥山庄作
 - 川崎文治 加藤房太
 - 龜岡與惣治 渡邊富三
 - 木田喜一郎 小野里吉

營業課目
材木並びに製材
土木建築請負
貸家業

色川材木店
電話三四一番

平町 吉田眼科醫院

謝恩三大名作揃 (二十四日ヨリ)

- A 狂及白 鬼 全
松竹作品 原作……川村邦弘
草間實、森靜子主演
永き恨み盡きせぬ呪、安執の無頼三九郎の最後は餘りにも傷まじきものだった
説明……泉天明
 - B 日活大作 泉鏡花先生
情話日本橋 全
岡田時彦 酒井米子 夏川静江
梅村蓉子 一色あけみ
説明……若月柯村
 - C 日活巨作 原作……服部秀
鳥羽陽之助 市川小文治主演
人間長兵衛 全
澤村春子 中村英雄 川上彌生 石井貫治
久米讓 助演 説明……石井孝
- 普通席 金十錢 學生デ！ 平館

特別大興行

廿四日ヨリ三日間
メトロ超特作
「ラモナウアロ氏主演
ヘロデ王」ベンハー
時代史劇
メイマツカボーイ助演
映畫始まつて以來人類が誇り得る映畫中の最大作品！
映畫終焉の日も亦人類は「ベンハー」を以て映畫中の最大作品と斷言し得るものなり。映畫を観るべきもの一度は見えて置くべき映畫である。

観音引金廿錢 御持券
料席券 方

有聲座

特等六〇〇
一等五〇〇
二等四〇〇
餘興映畫特別品揃
二十七日ヨリ四日間
藤間林太郎主演
獨身競争
歌川八重子助演

甲州嵐

松本田三郎主演
高津愛子助演
谷崎十郎 大林梅子主演
次郎長 森の石松 切封
外傳 小金井勝特別助演
有聲座

ねがめと計時
賣販繕修
店計時木鈴
り通場車停平

山澤が向春
たしましたい荷入
ソリスモ尺着・尺着ルートフナ
目丁三平 他其皮帶・ルネ・ルセ
屋田亀 すまひ願を命用御ぞうで

砲音二發響いて

莊嚴裡に礎石沈む

昨日の小名濱起工式 永年の要望茲に實現

地元小名濱町は勿論の事全福島縣を擧げて永年の要望であつた小名濱商港起工式は慶報の如く昨廿二日午前十時半より修築場に面した測候所隣接の海岸白砂青松の場所に大テントをはり正面中央一段高きところに

祭壇を設けた式場

に内務大臣代理宮崎土木局長、鐵道大臣代理官、陸軍參與官八田宗吉氏、加勢本縣知事、木村、比佐兩代議士、伊藤内務部長、中村警察部長、淺野總一郎翁、貴族院議員伊澤平左衛門、根本祐太郎氏その他縣會議員全部、及隣接町村長有志並に關係者約一千餘名列席修築事務所主任澤木技師の開式の辭に依つて開始多數神官の神樂吹奏裡に修祓降神行事獻饌の順を経て齊

いで海上修築場においては「基石内務大臣望月圭介」と刻した基石を二發の捕鯨大砲を合圖に汽笛吹鳴のうちに壯嚴に沈下するこれ正に午前十一時十五分それより式場にて坂本仙台土木出張所長祭文を奏し齋主の玉串捧奠、内務大臣代理宮崎土木局長、鐵道大臣代理官、加勢知事、貴衆兩院議員總代伊澤平左衛門氏、太

祝詞を奏すれば次

田縣會議長樗木事務所主任鈴木小名濱町長、來賓總代淺野總一郎翁の玉串捧奠ありて撤饌、昇神行事を修め内務大臣代理宮崎土木局長

左記の如き告辭並

に小川鐵道大臣、加勢知事八田參與官その他多數來賓の祝辭があつて嚴肅裡に舉行終了後同式場に協賛祝賀會を開始した尙午後三時より特別來賓の盛大な園遊會を催した

内務大臣告辭

小名濱商港築に第二種重興港灣に選定せられ其の修築計畫の樹立せらるゝや縣は直に之が實現を議決し政府亦工費の一半を補助することし内務省直轄工事として茲に其の起るに當り地方に在りては陸上の交通機關近時漸く完成の域に向へるも商港の施設に至りては尙之に伴はず産業開發上頗る遺憾に堪ざるものあり本港の修築は方に此の必要を感ずるものにして完成の曉其の効果の及ぶ所蓋し極めて大なるものある信す唯夫れ港灣工事は巨額の工費と多日の日子とを要し其の修築を完するに官民の協力に依らざるべからず冀くは地

方産業の開發の爲に率ゐて本港の完成に協力せられんことを一言述べて告

滿艦節の漁船二百隻

祝賀の分列式を行ふ

全町民見物人ご和して 萬歳を高唱祝福

廿二日小名濱商港起工式を祝福すべく東洋捕鯨船並に磐城丸を先頭に滿艦節に飾つた漁船數百隻は基石沈下の轟砲相繼ぎ之と共に漁船の分列式が舉行されたといふともなく全町民見物人と和し共に萬歳を高唱して祝福する一方町當局は一層歡を盡さんため過般泉村に於て行はれた諏訪神社の大名行列に加わつた人々二百餘名を招き全町をねり歩きいやは上にも祝福の氣分をそゝられた

石炭液化會社を

前提に各炭礦合同

豫定通り實現を見れば 炭礦の壽命を延長

磐城の炭礦會社合同の機運は漸次濃厚になり目下試験中の石炭液化が成功するのを待つて磐城、入山、古河その他大炭礦會社が合同出資し建設する石炭液化工業會社は炭礦會社合同の前提と見らる重役間には合同促進の交渉が進められてをりこれが豫定通り實現を見れば常磐炭礦の壽命は少くとも十五年位延長出来る

港の賑はひ

全町賑はひの祝賀氣分 間斷なく

仕掛花火

多年の宿望が漸く實現したので起工式當日の小名濱町



家 庭 欄

腐敗する御飯を防ぐ方法

御飯の水分をとるには白のきれいな木綿を用ふること

平町議選舉戰概況

(その三) ———— その他の各區

先年地盤がガラ明きたつた鍛冶町は有志が結束を自覺して國府田直良氏を擁護し二無二奮闘を重ねて居る且つ濃厚の實で同業者の花柳界からも獲票が纏り強味はあつたが瀧澤氏の出馬から受ける打撃で安心は出来ず隣町南町の大森勇氏は人格の人として既に定評があり今回の人氣候補である丈に安んじ熱心な擁護者達は人氣負けを懼れて居る、その向ふを張る萩原義雄氏は早く

から手を伸ばした爲めに勝味があつて得票も百五十は下るまいと噂され新川町の武田元之助氏は形勢混沌沌月見町では根本品藏氏大童の活躍中にて町内は結束したと云ふものの苦戦の境を脱しない、鎌田の鈴木光吉、佐藤岩次郎の兩氏は事務所を始め演説會迄協調を保つて似寄りの足並みで押し進み白銀町では高橋龜松、櫻井清、松永友太郎の三氏鼎立何れも一進一退で安心はつかない、就中高橋氏は前回

の雪辱戦であるだけ奮戦は悲壯の極みを呈して居る、田町では今回出馬の先鞭をつけた宇佐見友二郎氏が果してどの位へな獲票を得るかが問題視され野崎滿藏氏は民政派では最高であらうとの事だが各區の散票は可成りにむじられた形跡がある齊藤敏實氏は成算未しの観ある一層の奮闘を要し鐵道以北は出馬の噂があつた堀江正茂氏が立候補を断念した爲め佐々木龍若氏の獨り舞臺となり恰も無用地帯を行くの概を示して居るが同地盤は餘りの廣大さに失する丈に浸入され易き傾きがあり到底樂觀は許されず

大工町鐵道踏切問題の解決第四小學校の補地等各種の問題が前途に横はつて居る同地方としては是非同氏の當選に俟つ處が多いと各有志は結束を固めて居る

鐵道の制服を着た薩摩守

川前で捕る

平郡線下り旅客第十一列車が二十一日午後五時頃川前驛附近を進行中列車のデッキに佇んでゐる舉動不審の鐵道員の制服を着た男がゐるのを發見車掌が檢札を行つたところ乗車券を所持せず言語頗る曖昧のため正規賃銀を請求したが川前

明日の天気 北西の風 天氣次第 回復

教育部會

廿六日平第一に 石城教育部會にては廿六日午前九時半から平第一小學校に於て總集會を開催宮崎本縣師範學校長の講演ある

驛到着の際に突然列車から飛降り逃走したので車掌も續て飛降り追跡引捕へ警察に引渡した同人は自稱東京府下龜戸町影山儀博(三)で餘罪ある見込みで取調中

小名濱支店

設置を申請中

仙台市所在七十七銀行では過般大藏省に對し本縣石城郡小名濱町十三番地に支店設置の認可申請をなしてゐたが二十二日同省銀行局から本縣に銀行設置に依る同地方の經濟金融機關に及ぼす影響につき照會して來た

七十七銀行

◇すだれを用ひましてもやはり木綿を用ひます鍋のまゝでも用ひます。たきあげてからおろす時から木綿をかけて下さい
◇耳の穴に虫が入つた時は暗い部屋で蠟燭の火を耳に近づけると出て來るものである